



川口市立医療センター

Kawaguchi Municipal Medical Center

医療連携だより

患者支援センター院外広報誌

2019.3月 Vol. 38

〒333-0833 川口市西新井宿180

【発行元】

患者支援センター

TEL 048-287-2525 (代表)

FAX 048-280-2525 (直通)

第6回地域連携推進懇話会 特集



奥ノ木市長



川口市医師会会長 鹿嶋先生



大塚病院事業管理者

▽主催者挨拶

川口市 市長 奥ノ木 信夫

▽来賓挨拶

川口市医師会会長 鹿嶋 広久様

▽来賓紹介

川口歯科医師会会長 渡辺 幸男様

川口薬剤師会会長 梅澤 英臣様

蕨戸田市医師会会長 金子 健二様

蕨戸田歯科医師会会長 山岡 昌彦様

▽病院事業管理者報告

病院事業管理者 大塚 正彦

▽懇談

乾杯挨拶 院長 國本 聡

▽診療局紹介

▽最新治療のポスター紹介

・循環器科 林田 啓

・脳神経外科 古市 眞

・整形外科 大島 正史

▽閉会のことば 副院長 峯川 宏一

ご挨拶

第16回地域連携推進懇話会は、南部保健医療圏等の医療者間での顔の見える関係構築を目的として、第14回と同じくフレンディアで開催されました。

当日は当院の職員を含め約300名の方々にご出席いただき、感謝申し上げます。

奥ノ木市長や大塚事業管理者の挨拶にありましたように、当院は昨年4月に地域医療支援病院に承認されて以降、「断らない医療」を推進して参りました。

地域の先生方のご協力により、救急車の受け入れ数は月約600件と大幅に増加し、紹介率および逆紹介率も右肩上がりに上昇し、最近はどちらも80%前後で推移しています。

さらに、救急紹介ホットラインを開設し、先生方から月60-90件の電話での診察依頼を受けております。

このようなデータから、地域医療支援病院として十分に機能しているものと考えております。しかし、『断らない医療』を実施してきたことで、入院が長期化する等の問題も出てきております。

高齢者の誤嚥性肺炎、骨折などでの入院が増えたことが原因と考えています。これに対し早急に対策を講じる必要がありますが、私達としては病診連携、病病連携が何よりも重要であると思っております。

当院は、将来的にDPCⅡ群病院（大学病院本院に準じた診療密度と一定の機能を有すると考えられる病院）を目指しています。急性期病院として生き残り、地域医療の崩壊を防ぐためです。今後とも、更なる病診連携、病病連携の強化が求められておりますので、ご協力のほど何卒よろしくお願い致します。

副院長・患者支援センター副センター長

山崎 博之



《懇談 全体の様子》

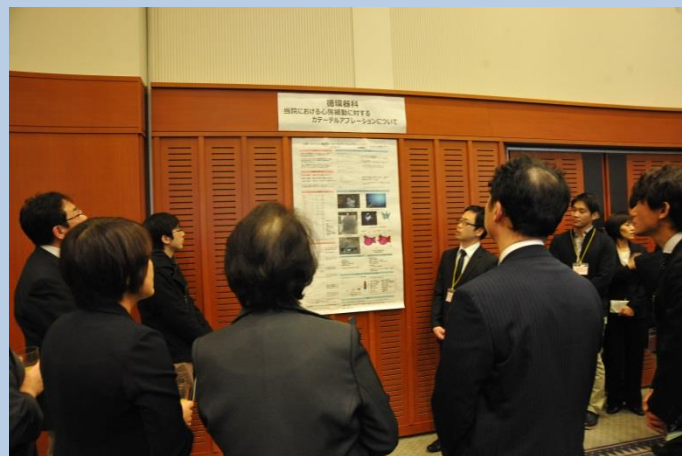




《ポスター掲示》



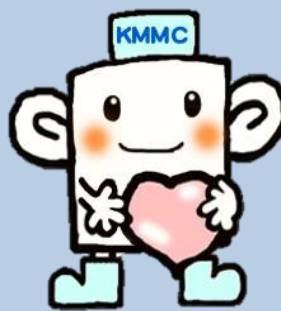
循環器科 林田医師
「カテーテルアブレーション治療」



脳神経外科 古市部長
「ハイブリッドバイプレーン
全身血管造影装置による治療」

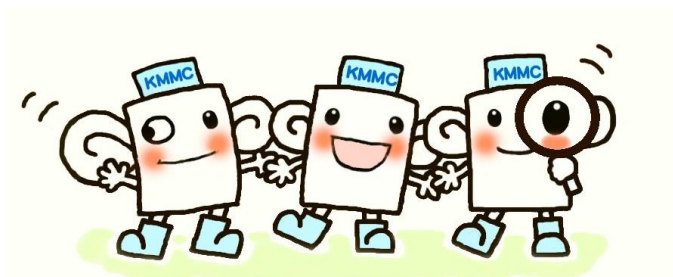


整形外科 大島副部長
「脊椎の低侵襲治療」



アンケート結果

質問 職種	I 地域医療支援病院としての期待する役割・ご意見・ご要望等をお聞かせください。	II 懇談のご感想、ご意見等をお聞かせください。	III 日頃の地域連携についてお困りのことや、今後の講演内容または医療センターへのご意見・ご要望等をお聞かせください。
医科	・困ったときは是非よろしくお願ひします。	・たくさんの医師とご挨拶できてよかったです。 いつもと違う形式で。	・動画がすごく綺麗だった。 ・整形外科・循環器の先生方の説明もわかりやすくなったになりました。ありがとうございます。
歯科	・患者をなるべく医療センターから他院へまわさないで。	・他科の先生方とお話しができて連携できそうです。 ・ありがとうございました。	・ホットラインが繋がらない。
薬剤師	・今後のご指導にご協力できるようになりたいと思います。	・もう少し他業種同士の方と話し合えたら良いなと思う。同業の方との交じり合いになっていた。	・具体的に協力できることを学び役に立てたらよいなと思った。
看護師	_____	・連携室の方ともごあいさつでき感謝しております。	・現在の所、連携室を通して受入していただいているので助かっております。
相談員	・地域の方はもちろん多少遠方の方でも精査などお願いしたい。	・パネルの説明が少々聞こえなかった。	_____
連携担当	・いつもお世話になっております。	・ありがとうございました。	_____
事務職	・川口市、医療圏内の中核として医療機関等との連携体制の充実を願っています。	_____	_____



連携便り 3月号

光陰矢の如しとはよく言ったもので、昨年から今年にかけてはアッという間の1年でした。昨年のこの時期は患者支援センター開設に向けての会議が毎週のように開かれて慌ただしい時を過ごしていたのが昨日のこの様です。

この年は当院にとっても変化の大きな1年でした。

昨年4月に地域医療支援病院になり、完全に紹介型病院にかじを切った年でありました。そのためいっそう地域の医療機関との連携が必要になり、その中心を担う患者支援センターの役割がますます重要になってきた年でした。

幸いな事に、職員の力により支援センターも大きなトラブルもなく順調な滑り出しを見せてくれました。まだまだ課題は多々ありますが、今後も地域を担う急性期病院の窓口として発展していきたいと考えています。

さて今回の連携便りは先日フレンディアで行われた第16回地域連携推進懇話会の報告です。盛況に行われましたので、ご一読ください。よろしく願いいたします。

副院長・患者支援センター長

峯川 宏一



Information

次回 第17回地域連携推進懇話会について

2019年7月2日(火) 19:00~20:30

会場：川口市立医療センター 3階講堂

詳細は後日改めてご報告いたします。



編集後記

暖かい日が少しずつ増え、春の訪れを感じるようになりました。

新年度も何卒よろしくお願い申し上げます。

連携担当

発行責任者



川口市立医療センター Kawaguchi Municipal Medical Center

副院長・患者支援センター長

峯川 宏一

TEL：048-287-2525（代）

FAX：048-280-2525

E-mail: 170.05010@city.kawaguchi.lg.jp

ホームページ：<http://kawaguchi-mmc.org>

